

飯南

い
い
な
ん

議会報



バックナンバーも読めます。

第85号
令和8年4月20日

- 2 3月議会報告
可決した主な議案／陳情
- 3 令和8年度町予算
令和7年度各会計補正予算
- 4-10 一般質問
- 11 討論／自治功労賞者表彰
- 12 採決の結果
- 13 意見書
- 14-15 常任委員会報告
議会活動報告／全員協議会の報告
- 16 明日を拓く



3月定例会を終えて

3月3日から18日まで16日間の日程で開催

「ITを学びながら地域貢献活動」を行なう新会社が設立される。地域おこし協力隊10名を受け入れ運営するもので、国補助金や制度活用など7千万円余の行政手続きを支援する。地域に根付いた企業として成長を期待したい。

森林資源を活用し地域産業の創出を期待した「飯南縁の森」が3月末で撤退し、吉賀町に移る。国補助金1億円を活用し親会社「トビムシ」と森林事業化や地域おこしを5年かけ研究、設立した地域会社であり残念な限りだ。

特別養護老人ホーム統合に向け、町が整備した用地に新施設が建設され、令和9年秋の開所を目指される。その建設費の一部を町が支援し、令和8年度4億円(2年間総額8億円)を予算化した。

国補助金を利用し、小学校の給食無償化を含む学校給食支援に6429万円、定住促進住宅整備9148万円、頓原緑地公園整備8700万円、国民スポーツ大会推進5094万円を盛り込んだ令和8年度当初予算など、予算案件12件、条例改正案件など15件、指定管理者の指定11件、陳情1件、その他4件について議決した。



志々小学校最後の入学式、全ての準備を終えて式を待つ。(4月8日)

可決した主な議案

条例関係

飯南町認知症を理解し寄り添うまちづくり条例の制定など12件

諸議案

飯南町過疎地域持続的発展計画の策定

公の施設(志津見集落活性化施設)の指定管理者の指定など13件

教育長の任命

人権擁護委員の推薦につき意見を求めること

補正予算

令和7年度飯南町一般会計補正予算(第8号)など5件

予算

令和8年度飯南町一般会計予算など7件

議員提出議案

竹島の領有権の早期確立に関する取り組みの強化と特別措置法の制定を求める意見書の提出(13ページに全文掲載)

陳情

政府に所得補償(直接支払い)制度の実現を求める陳情

〔陳情者〕島根県農民運動連合会

会長 田食 道弘

〔付託委員会〕教育経済常任委員会

〔審査の結果〕不採択

令和8年度町予算決まる

一般会計・特別会計・事業会計の総額は

118億3200万円

会計名	予算総額	
一般会計	84億2336万円	
特別会計	国民健康保険事業	6億2378万円
	後期高齢者医療事業	2億0549万円
	介護保険サービス事業	4588万円
	病院事業会計	14億7207万円
	簡易水道事業会計	5億4873万円
下水道事業会計	5億1266万円	

令和7年度 各会計補正予算

一般会計は 3209万円 減額に

琴引スキー場の来場客減少による指定管理料2200万円の増額、人件費の減による委託料1000万円の減額、事業費確定等に伴う各事業費の減額など

会計名	補正予算額	予算総額	
一般会計	△3209万円	82億4430万円	
特別会計	国民健康保険事業	81万円	6億4641万円
	病院事業会計	△116万円	14億9128万円
	簡易水道事業会計	△3483万円	5億3441万円
	下水道事業会計	△1485万円	5億7474万円

一般 質問

令和8年 3月定例会

蛍光灯販売中止の告知を

伊藤 好晴 議員



Q 2027年問題に備えよ

水銀に関する水俣条約が発効し、水銀が人の健康や環境に与えるリスクを低減するための包括的な規制を定めている。

水銀灯は、製造・輸出入が原則禁止、蛍光灯も2027年末までに段階的に禁止される。

国内主要メーカーは、蛍光灯・水銀灯の製造を終了しており、蛍光灯器具は姿を消し、交換用ランプも入手が困難になる。在庫不足や価格高騰もあり「蛍光灯の2027年問題」が発生すると言われている。

学校を含む公共施設、町営住宅の共用部分、町有施設、指定管理施設でのLED化計画と進捗状況はどうなっているか。町も目標を持つて計画的な更新を図るべきではないか。

集会所や社会福祉法人などが運営する施設等の進捗は把握しているのか。補助事

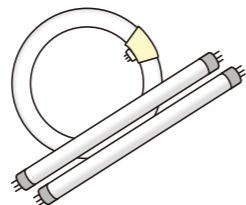
A 重要な施設優先で

町長塚原隆昭

町施設全体では半分以上が完了していない。具体的な計画策定までは考えておらず、避難所となる施設や使用頻度の高い施設から優先的に実施したい。

社会福祉法人では、概ね更新できています。補助事業は、各自治会の状況・ニーズを確認し検討する。

混乱が発生しないよう、チラシ・広報誌などで早めの周知を行う。



A 的確な判断と行動

町長塚原隆昭

弾薬庫の整備については、指摘のとおり、危険を含む施設だと思ふ。本町に隣接する吉田町の民谷地区であり、整備が進められれば本町にとっても大きな影響がある。

判断すべき材料を持ち合わせていないので、しっかりと情報収集し、的確な判断・行動につなげていきたい。

進化する防獣・防災へ

内藤 眞一 議員



Q 新たな知見での「クマ対策」を

クマが人里に出没する要因について、中山間地域研究センター鳥獣害対策科の研究によると、「ドングリ不作ではなく、放置された柿などの果実が主な誘因」としている。論文では、出没したクマの栄養状態は良好で、飢餓ではなく果実などの魅力的な食物資源が目的であるとしたうえで、放置果樹の適切な管理が重要であり、人と熊との緊張関係構築が必要との見解が示された。

柿や栗などの果樹は住民の財産であり、安易に伐採を求めるとは難しいが、安全確保のために町が費用負担を含め、伐採や枝切りを依頼する考えはないか。



柿の木に上るクマ

A 環境づくりに取り組む

町長塚原隆昭

従来の「山の餌不足が原因」という認識を見直す重要

な知見であり、クマ出没は住民の安全に直結する重大な問題である。緊急銃猟対応マニュアルを策定し、机上訓練を実施、新年度には実地訓練や国交付金による銃猟体制を整備し対策強化を進める。

私有財産の管理は所有者の責任だが、特に緊急性が高い場合は、町が伐採等を行うたい。

クマ対策は行政だけでは完結せず、地域ぐるみで「人里は安全ではない」とクマに認識させる環境づくりに取り組む。

Q 分かりやすい避難標識を

数年前に「河川流量増加時の避難目安に、橋脚に目盛りを付けてはどうか」と提案したが、県は「橋脚への書き物は許可しない」との回答だった。その後、町は、加田の湯対岸の擁壁に紅白の標識を設置した。これが住民にどのように理解され、避難行動に活かされているか。

また、赤名・来島・頓原・八神に1カ所ずつ設置すれば、住民の避難判断に役立つのではないかと。

大雨警報の際、河川の状態を目視できることは重要で、過去の出水データ(特に5年前の豪雨)を参考に、住民が水位を見て避難できるように、危険を「目で見て分かる」標識を設置してはどうか。

A 量水標設置を進める

町長塚原隆昭

5年前の豪雨災害を受け、県に対し、赤名・来島・頓原・八神の4地域に量水標設置を要望し、八神を除く3カ所(松崎橋・潮橋・万対橋)に量水標とライブカメラが設置された。赤名川も改修工事完了後に設置される予定だ。

設置された量水標は、1mごとに青・黄・赤で色分けされ、避難判断の目安となる。ライブカメラは島根県水防情報システムで確認でき、飯南町防災ガイドブックにも利用方法を掲載している。

今後も、防災訓練や出前講座、広報等で周知し、避難判断に活用できるように取り組む。



飯南町防災ガイドブック

Q 弾薬庫建設阻止を

雲南地区防衛協力会のメンバーが、雲南市吉田町内で、自衛隊の弾薬庫と訓練場の誘致に向けて動いている。

私は、先の大戦の際、命がけで戦争反対の旗を掲げ活動した日本共産党の一員として、戦争に結びつく施設の誘致などには、断固反対を貫いていきたい。

自衛隊施設誘致は、地元の活性化に役立たないどころか、さらなる疲弊を招くこと、これまでの全国の経験から明らかになっている。

町や住民の将来を見据えた行動をとっていただきたい。

A 的確な判断と行動

町長塚原隆昭

弾薬庫の整備については、指摘のとおり、危険を含む施設だと思ふ。本町に隣接する吉田町の民谷地区であり、整備が進められれば本町にとっても大きな影響がある。

判断すべき材料を持ち合わせていないので、しっかりと情報収集し、的確な判断・行動につなげていきたい。

一般 質問

令和8年 3月定例会



防災頭巾を全児童に

高橋 英次 議員



Qなぜ志々々小学校だけ

教育行政における危機管理の一環として「防災頭巾」の導入について問う。

令和8年1月6日に島根県東部で震度5強の地震が発生し、飯南町でも震度3を観測したことから、学校での安全対策の重要性が再認識された。学校は子どもが最も長く過ごす場所であるため、保護者にとって安全確保は最大の関心事だ。

現在、町内の学校における地震発生時の対応は「机の下に避難」が基本だが、避難行動に移ると蛍光灯等や天井材の落下が想定され、頭部保護の必要性を軽視できない。

防災頭巾は、落下物やガラス片からの防護、冬場の防寒対策、火災時の熱対策、心理的安心感などから再評価されている。

また、椅子に常備できるため即時使用が可能となる。機能性と即効性を併せ持つ防災頭巾を教育長はどう考えるか。

私は以前、全員協議会で防災頭巾を提案した。この度の調査で、志々々小学校に既に導入されていることを知り、議会への報告がなかった点に不信に感じた。

防災装備は町内の全児童に平等に提供されるべきであり、公平性の観点から疑問である。教育長の見解を問う。

Q緊急の優先的整備

教育長 大谷 哲也

文部科学省の調査では、防災頭巾の全国普及率は42.3%で、東日本で高く西日本で低い傾向がある。県内の普及率は4.5%と低く、近隣市町では導入されていない。

本町では校舎の耐震性に課題がある志々々小学校で、学校と保護者の強い要望を受け令和7年3月に導入し、避難訓練でも使用している。

防災頭巾は、軽い落下物やガラス片からの防護に有効だが、強い衝撃には弱くヘルメットに劣る点はある。志々々小学校においては関係者の心理的安心感は大い。

志々々小学校は、耐震性の問題が判明して以降、避難経路の安全確保を最優先に、ガラス飛散防止や手すり設置、書棚やロッカーの固定など緊急対策を進めてきたが、防災頭巾導入などソフト面の議会報告が不十分であり、不信感を与えた点は配慮に欠けていた。



志々々小学校教室

また、安全対策は平等であるべきとの指摘には、志々々小学校は耐震性の不安を解消するために緊急対策を進めてきた中での優先的整備であり、理解して欲しい。

今後は防災意識の向上や避難訓練の充実を図りつつ、防災頭巾の効果や新たな防災装備品について、全国での見直し動向なども踏まえ、学校現場の意見を聞きながら慎重に検討していく。



町の未来へのビジョンは

岸 光研 議員

Q不安な国の財源

現在、我が国には1300兆円を超える借金がある。令和8年度も財源不足を補うために、30兆円余りの新規国債が発行されようとしている。

専門家にも様々な意見があり、国民は何が真実なのか不安に思う。国民は2000兆円を超える金融資産を持つていることや、国債の多くを日銀が保有していることなどで、まだまだ大丈夫、財政破綻などしないとの考えがある一方で、償還利払いも膨らみ、もはや危険水域に達しているとの意見もある。

町長は、このような状況をどのように認識しているか。

A自主財源確保に

町長 塚原 隆昭

国の借金が増大していることは、率直に心配している。依存財源である地方交付税や国・県の交付金、補助金を活用しないと予算編成が

できない。本当に心配するのは、大規模災害が起きた時には交付税が手当てしてもらえないのかということだ。

今後は、町税の確保、公共料金の見直し、ふるさと納税の増加、基金の運用、財産処分などにより、自主財源の確保に努めたい。

限られた財源を最大限活用し、効率的な行政サービスを提供し、安定した財政運営を行いたい。



Qわが町の未来への投資は

厳しい財政状況でも、未来への投資は進めなければならぬ。

「米百俵の精神」と言われるエピソードがある。幕末の長岡藩(新潟県)では、戊辰戦争に敗れ、極度の食料不足にあった。

近隣の藩から贈られた米百俵を配らず、その米を売却して学校の設立に充てた。

「百俵の米も食べばたちまちなくなるが、教育にあてれば明日の一万、百万俵となつてかえってくる。」と、人づくりが最大の投資であると考えた。

わが町の未来へ向けての投資について、どのように考え、ビジョンを持たれているのか、町長の思いを問う。

Aふるさと教育の充実を

町長 塚原 隆昭

第三次総合振興計画で「創造力のある未来の人づくり」を政策分野の一番目に掲げている。その中で、「社会で活躍できる人材を育てる取り組み」を進めている。

学校・家庭・地域が一体となつて、子供の学びを支援していく。特に、公民館が地域での学びを支える存在となっている。社会教育を専門的に実践できる公民館主事、公民館体制の充実に努めたい。

今後も、ふるさと教育をさらに進め、地域や地元企業に対し愛着の醸成を図り、将来を担う人材を育てることが重要であり、貴重な人材、若者のUIターン促進の施策も進めていく。

一般 質問

令和8年 3月定例会



高橋 徹 議員

過疎地域に活性を

Q 実態把握に努める

町長塚原隆昭

町有地の総面積は1649万平方メートルであるが、詳細な把握は出来ていないため、令和8年度から洗い出しと整理を行い、実態把握を進める。

現状では、地域資源としての位置づけや戦略的な取り組みまで至っていない。施設の譲渡貸付については、周辺価格等を参考に進めたい。

Q 遊休地の活用を

遊休地は企業誘致や地域コミュニティ活動など多様な活用の可能性を秘めた貴重な資源である。

- ① 件数や面積などの現状把握
- ② 管理体制と対応
- ③ 今後の基本方針

活用が困難な施設や土地は、民間事業者や個人の発想を生かし、積極的な活用の検討を求める。

Q 通信品質の実態は

国のデジタル田園都市国家構想では、都市と地方の情報格差解消のため光ファイバーや5Gの整備が進められている。

本町でも2019年度に光ケーブル整備がほぼ完了し、最大1Gbps(※)の高速サービスが提供されているが、一部では実際の通信速度が数Mbps程度にとどまるとの指摘もある。

遠隔医療やオンライン教育、防災など、今後デジタル活用が広がる中、整備率だけでなく実効速度や通信の安定性を把握し、通信品質を検証すべきではないか。

また、将来の遠隔医療やIT企業誘致を見据え、通信速度は十分か、専用高速回線のモデル地区整備や衛星通信の活用の可能性についてはどう考えるか。

※GbpsとMbpsについて

インターネットなどを使用する際の通信速度の単位GbpsはMbpsの1000倍の速度

Q 通信基盤の現状と課題を認識

町長塚原隆昭

雲南市・飯南町事務組合のケーブルテレビインターネットで最大1Gbpsのサービスを提供しているが、同時利用が多い時間帯には実効速度が低下することがある。使用容量は随時確認しているものの、平均実測値や地区別の速度差などの調査は実施していない。問い合わせがあった場合は原因究明に努める。

令和8年度には通信容量の増強を予定している。現時点で行政サービスに通信速度が直接支障となる事例は報告されていない。

専用高速回線の整備は検討していないが、明確な需要があれば費用対効果を踏まえ検討する。

Q 廃校予定地の利活用を

廃校となる志々小学校の利活用について、基本方針や地域住民の意見反映、民間事業者や地域団体への公募型活用の考えはあるのか。

また、利活用が難しいとの答弁は公共施設としての活用が困難なのか、それとも全ての活用が困難なのかを確認する。

Q 地域と協議重ねたい

町長塚原隆昭

志々小学校は、児童数減



志々小学校

Q 森林管理の危機と対策は

日本の森林率は約67%だが、林業従事者は大きく減少しており、担い手不足や所有者不明の森林が課題となっている。

本町でも、人口減少や所有者の高齢化が進む中、地域おこし協力隊の活用などによる森林管理体制の強化を提案する。

Q 森林保全と担い手確保

町長塚原隆昭

本町の森林面積は約2万963haで、町や国などが41%、個人所有の自然林が42%、森林組合が管理する個人所有林が5%だ。管理状況が把握できていない人工林は約12%。

ICTやドローンなどによる森林データ整備は、費用や技術面の課題から実施していないが、森林環境譲与税の活用も含め今後検討する。



担い手確保については、林業は森林組合などの事業体による集約施業が中心であり、自伐型林業の生活成立には課題もある。

津和野町の事例を参考に地域おこし協力隊の活用や担い手育成を研究する。

本町は、森林資源や研究機関など林業関連の資源がそろっているので、長期的視点で持続可能な林業の戦略を描き取り組んでいく。

Q 実態調査分析中

町長塚原隆昭



昨年12月の自治区長会で空き家調査の実施を案内し、自治会長・組長の協力により空き家実態調査を行った。

調査では、居住の有無や居住が可能などうか状況把握の目的で実施した。現在、回答内容の分析を進めている。

速報値では、活用できる可能性のある空き家は約200件確認された。一方で、管理されておらず建物の損壊が見られる空き家が42件報告されている。

空き家が危険家屋とならないよう、活用に向けた取り組みを進めることが重要と考える。

Q 空き家対策の動向

昨年9月定例会で空き家対策を質問した際、町は早い段階で活用していくため情報収集に努め、課題解決につなげるとの答弁だった。その後、これまでにどのような取り組みを行ってきたのか。

また、計画作成や策定状況等はどうなっているのか。さらに、現在の進捗をどのように評価しているのか。併せて今後の課題について伺う。

一般質問

令和8年3月定例会

人口を増やす努力を



安部 誠也 議員

Q 関係人口の拡大は

関係人口の拡大に力を入れているが、飯南町の関係人口はどのくらいに変わったのか。「見える化」が必要。

三次のアンテナショップ「まるシェ」が閉鎖され、首都圏では世田谷区民まつりの不参加なども懸念する。関係人口をつくるきっかけづくりであり、ふるさと納税が期待できた。広島広域都市圏に加入したが交流が少ない気がする。

総合振興計画では、町の資源を活かした企業誘致や創業など書かれているが、定住促進の施策があるのか。

A 2000人以上が県外者

町長塚原隆昭

数字がわかるものとして公式LINE登録が3779人のうち約2000人以上は県外者である。

町の魅力発信を目的に、今年度から開始した「飯南町オ



閉鎖したアンテナショップ「まるシェ」

「フィシャルアンバサダー」を任命し、SNS等を活用した情報発信をしている。滞在期間最大90日の「インターン型協力隊」の受入れも始めている。

本町に実際に訪れて、関係人口、そして移住・定住につながる施策を推進していきたい。

Q 政党機関紙の購読勧誘は問題

庁舎内で、政党の機関紙「しんぶん赤旗」の購読勧誘・配達・購読料の徴収が行われているように見受けられる。公務員は政治的に中立であるべきで、特定の政党の機関紙の勧誘・販売は、職務遂行への信頼が損なわれると思う。議員という優越的地位の人が、職員に購読を求めるのは問題があると思う。

勤務時間中の活動として、勧誘・集金は、職務専念義務違反や職務規律違反にあたる可能性があり、長年慣例的に行われたが是正の動きが広がっていると聞く。

機関紙の勧誘を行っているのに、幹部は職員を見て見ぬふりをし続けていることも問題だと思う。



職員の中には、仕方なく買っているとの声も聞く。政党機関紙を購読することは、政党の活動資金になる。庁舎内では物品に絡む勧誘を禁止するなど庁舎管理規則に追加するよう対策を講じるべきだ。

A 規則改正は考えていない

町長塚原隆昭

公務員は中立であるべきだが、機関紙の購読自体は自由であり、本人の意思に基づいて購読しているものと認識している。執務室内への出入りは個人情報に係る書類等の取扱いもあり、令和7年4月から執務室への出入りは制限した。

庁舎管理規則への禁止行為を盛り込む規則改正までは考えていないが、今後、安全管理に係るものや業務の中で不具合が生じることがあれば、適時適切に対応したい。

討論

議案第12号

飯南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論 伊藤 好晴議員

賦課限度額の調整では国保の保険料不公正や構造的課題を根本から質すことはできない。

国保の「均等割」は徴収が義務化されているが、「まるで人頭税」「子育て支援に逆行している」と批判されている。

抜本解決には、国保制度の根本的見直ししかない。それがかなうまでは、一般会計から国保会計への財政出動で賄うべきである。

賛成討論 安部 誠也議員

低所得者層と中間所得者層の保険料負担をより軽減し、高所得者層には上限を定めた応分を負担してもらう改正。

加えて令和7年度より国保基金の10%（令和8年度予算2478万円余）を取り崩し、全加入世帯の負担を一律に軽減する町独自の政策運営をされており、総合的に判断し賛成。

議案第1号

竹島の領有権の早期確立に関する取組の強化と特別措置法の制定を求める意見書の提出について

反対討論 伊藤 好晴議員

竹島が1905年に島根県に編入されて以来、半世紀にわたり日本領とされてきたこと、サンフランシスコ条約でも、竹島を放棄する島のなかに含まれていなかったことから、日本の領有権の主張には、国際法上の明確な根拠がある。

編入時期が、日本が朝鮮を武力で植民地化してゆく課程にあり、朝鮮の外交権が奪われていたことも考慮し、韓国側の主張も検討する必要がある。

日韓両国が歴史的事実をつきあわせ、冷静な外交交渉を日本政府に求めることが重要で、本案に賛成できない。

賛成討論 安部 誠也議員

1952年韓国大統領による一方的な「海洋主権宣言」以降、1ミリも動いていない竹島の領有権問題を、1ミリでも動かすためには、法的枠組みを整備し、啓発活動や調査研究活動を一層推進するための国の財政支援が不可欠。

竹島を抱える島根県民のひとりと



竹島(1906年島根県調査時に大野政助氏撮影) 所蔵:島根県立図書館

して、島根県町村議会の一員として、少しでも動かす行動をとる。

賛成討論 高橋 英次議員

今年も「竹島の日」記念式典への閣僚の出席は見送られたが、本意見書は北方領土問題との不条理な格差を是正するよう訴えるものである。

県内全域を隣接地域と捉え直し、全自治体が足並みをそろえ、一丸となつて声を上げることは連帯の意思表示である。

採択することは、我々地方議会の責務であり、地方自治の本質だ。

自治功労者表彰

2月20日に開催された島根県町村会議長会定期総会において、議長在職6年以上の功績として早樋徹雄議長が島根県町村会議長会会長表彰を受けました。

また、議員在職12年以上の功績として内藤眞一副議長と高橋英次議員が島根県町村会議長会会長表彰を受けました。



早樋徹雄議長



内藤眞一副議長



高橋英次議員

提出先

衆議院議長、参議院議長

内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、財務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、防衛大臣、内閣府特命担当大臣（領土問題担当）、海上保安庁長官、水産庁長官

意見書

竹島の領有権の早期確立に関する取組の強化と特別措置法の制定を求める意見書

島根県隠岐郡隠岐の島町に属する竹島は、歴史的にも国際法的にも疑いのない我が国固有の領土である。しかしながら、昭和27年の「李承晩ライン」の一方的な設定以来、韓国による不法占拠が今日まで続いており、我が国の主権が著しく侵害されている現状にある。

領土問題は国家の根幹に関わる事案であり、一刻も早い領有権の確立は、隠岐の島町のみならず、わが国全体の主権、並びに私たちの郷土島根の豊かな海と安全な暮らしに直結する最優先の課題である。

現在、北方領土に関しては「北方領土問題等の解決の促進のための特別措置法」に基づき、元島民への支援や隣接地域の振興、国民世論の啓発が国の法的義務として強力に推進されている。一方で、竹島問題については、同様の法的枠組みが十分に整備されているとは言い難い。

竹島周辺海域における漁業秩序の混乱や、地元住民が長年強いられてきた経済的・精神的負担を考慮すれば、竹島問題の解決に向けた取り組みは、単なる外交交渉にとどまらず、国内法的な支援体制の確立が不可欠である。

よって、下記の事項を速やかに実施するよう強く要望する。

記

1 「竹島問題の解決の促進のための特別措置法(仮称)」の早期制定

竹島問題の解決の促進及び領有権の早期確立に向けた取組を総合的かつ計画的に推進するため、北方領土における特別措置法に準じた法的枠組みを速やかに整備すること。

2 隣接地域としての指定と地域振興策の推進

同法において、隠岐諸島及び島根県全域を竹島問題の「隣接地域」として明確に位置づけること。その上で、同法に基づく広報啓発活動の抜本的強化及び不法占拠により影響を受けている地域の産業振興や基盤整備を国の責任において強力に推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 8 年 3 月 1 8 日

島根県飯南町議会

採決の結果 [3月定例会]

議案の採決結果は次のとおりです。

結果	伊藤好晴	内藤眞一	高橋英次	安部誠也	景山登美男	安部 丘	平石玲児	岸 光研	高橋 徹
飯南町認知症を理解し寄り添うまちづくり条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町情報公開条例等の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町滞在型地域交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
憩いの郷衣掛の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
都市交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
琴引スキー場及び琴引スキー場周辺施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町観光・体験農園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	可決	●	○	○	○	○	○	○	○
飯南町交流物産館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町過疎地域持続的発展計画の策定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(志津見集落活性化施設)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(滞在型市民農園)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町地域農業総合管理施設(頓原農業用機械格納庫))の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町育苗センター)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町水稻種子集出荷選穀施設)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町きのこ生産施設)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(酒づくり交流館)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(琴引スキー場及び琴引スキー場周辺施設)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(都市交流センター)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(憩いの郷衣掛)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町障がい者共同生活支援施設)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
町道の路線認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
水道料金に関する権利(債権)の放棄	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町病院事業会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町簡易水道事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町下水道事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度飯南町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度飯南町国民健康保険事業特別会計予算	可決	●	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度飯南町介護保険サービス事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度飯南町病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度飯南町簡易水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度飯南町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
教育長の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	適任	○	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

竹島の領有権の早期確立に関する取り組みの強化と特別措置法の制定を求める意見書の提出	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

陳情の採択結果

政府に所得補償(直接支払い)制度の実現を求める陳情	不採択	○	●	●	●	●	●	●	●	●
---------------------------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(原案に対し反対多数で不採択)

臨時会(2月9日開催)

固定資産評価審査委員会の委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会の委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会の委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会の委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会の委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めること	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成議員 ●反対議員

教育経済常任委員会

委員長：高橋英次 副委員長：岸 光研
委員：内藤真一 安部誠也 平石玲児

常任委員会 報告

総務厚生常任委員会

委員長：景山登美男 副委員長：安部 丘
委員：早樋徹雄 伊藤好晴 高橋 徹

議案第28号 令和7年度 飯南町一般会計補正予算(第8号)

【歳出】
琴引スキー場臨時管理費 2200万円

指定管理契約に基づき指定管理料を増額する。
今後はリフト券の値上げを行いつつ、損益分岐点となる32,000人の引き下げを図っていきよう指定管理者と協議を進めると説明があった。

議案第33号 令和8年度 飯南町一般会計予算

農作物鳥獣被害防止事業 3141万円

昨年度の有害鳥獣の主な捕獲実績は、イノシシ504頭、シカ127頭となっており、イノシシは、捕獲数の減少がみられ、原因として豚熱が影響しているのではないかと説明を受けた。

指定管理鳥獣対策事業 439万円

緊急銃猟に対応する経費等で、クマスプレーや追い払い花火等、講習受講手数料、緊急銃猟訓練費用の他、新規に緊急銃猟対応備品として、ヘルメット及びプロテクター等を購入する。

河川浄化対策事業 2962万円

県管理河川や町管理河川の浚渫工事(※)を行なう。委員からは、1つの河川を集中的に浚渫したらどうかとの意見があった。どの河川も浚渫の要望が多く、緊急を要する場所から行っているとのこと。

※浚渫(しゅんせつ)
災害防止や水質改善を目的に川底の土砂を除去する

国民スポーツ大会推進事業 5094万円

町営頓原球場でソフトボール競技開催にあたり、2030年までに必要な施設整備を行なうもので、今年度新規にバリアフリートイレの整備と、3塁側防球ネットの整備を行う。



頓原球場(西日本ハイシニアソフトボール大会島根県予選会)

学校給食経常管理費 6429万円

この度、国は学校給食費の抜本的負担軽減のため「給食費負担軽減交付金」を創設した。本町では小学校について無償化する。

議案第28号 令和7年度 飯南町一般会計補正予算(第8号)

【歳出】
物価高騰対策非課税世帯給付金 2183万円

住民税非課税の670世帯に、1世帯当たり3万円を支給する。4月以降を予定しているとの説明があった。できるだけ早い支給を求めた。

議案第33号 令和8年度 飯南町一般会計予算

【歳出】
庁舎臨時管理費 1210万円

役場本庁舎横の公用車庫の屋根に102枚の太陽光パネルを設置する。これにより、本庁舎の年間電気料金の約3分の1にあたる162万円を削減できる見込み。

地域活性化起業人活動事業 2170万円

地域活性化に係る取り組みを支援する。これまでの情報発信に加え、新年度からIT人材育成を推進するために民間企業から人材派遣を受ける。

定住促進住宅整備事業 9148万円

赤名の定住促進賃貸住宅予定地の用地取得・造成工事等の経費及び上来島の定住促進賃貸住宅予定地の造成工事等の経費。

赤名には、世帯用住宅を4から6世帯予定。上来島には、分譲地またはセミオーダー住宅の用地を予定しているとの説明。定住促進を進めるには、「どのような定住支援の在り方が望ましいか」を十分に検討するよう求めた。

地域おこし協力隊活動事業 7575万円

うち5500万円は、ITを学びながら地域協力活動を行う協力隊10名の委託料。

滞在型地域交流拠点整備事業 1218万円

滞在型地域交流拠点(三日市NODE「ノード」)の運営経費。
高校魅力化コーディネーターを兼務するハウスマスターを1名配置する。

人材育成拠点施設整備事業 1500万円

国交付金を使い、民間企業受入型地域おこし協力隊10名の活動宿泊拠点施設整備を支援する。

デマンドバス運行経常管理費 4092万円

車両4台で5ルートのデマンドバスを運行する経費。
4月から赤名・来島エリア便を飯南病院まで運行し、利便性の向上を図る。

高齢者福祉施設整備事業 4億円

社会福祉協議会が実施する老人福祉施設整備への補助金。2か年で8億円を補助する計画。

緊急通報システム事業 263万円

75歳以上の単身高齢者に緊急電話機を貸与しているが、新たに冷蔵庫の開閉センサーによるメール送信システムを追加導入する(おはようタッチとの併用不可)。

頓原緑地公園整備事業 8700万円

道の駅頓原周辺の緑地公園に遊具と駐車場を備えたこども広場を整備する。
公園に自転車や徒歩で行く児童への安全確保を求める意見があった。

議会活動報告 [1月~3月]

- 1 6日 議会広報常任委員会(議会広報紙編集作業)
- 8日 議会広報常任委員会(議会広報紙編集作業)
- 23日 雲南地域議会議長連絡会研修会

- 2 2日 議会運営委員会(臨時会の提出議案、日程外の協議)
- 4日 総務厚生常任委員会
- 9日 臨時議会 全員協議会
- 16日 教育経済常任委員会
- 18-19日 町村議会広報研修会(東京)
- 19日 雲南広域連合議会2月定例会
- 20日 島根県町村議会議長会定期総会
- 26日 議会運営委員会(3月定例会の提出議案、日程外の協議)
- 議会広報常任委員会

- 3 3日 3月定例会: 本会議(町長提出議案の説明)
- 4日 : 本会議(町長提出議案の説明、質疑、委員会付託)
- 9日 : 本会議(一般質問)
- 10日 : 委員会審査
- 11日 : 委員会審査
- 12日 : 委員会審査
- 13日 : 委員会審査
- 16日 : 委員会審査
- 17日 : 議会運営委員会(追加議案、日程外の協議)
- 委員会審査、予算特別委員会、全員協議会
- 18日 : 本会議(委員長報告、討論、採決)
- 21日 庄原市政20周年記念式典(庄原市)
- 24日 雲南市・飯南町事務組合議会3月定例会
- 26日 議会広報常任委員会(議会広報紙編集作業)
- 31日 議会広報常任委員会(議会広報紙編集作業)

全員協議会の報告

令和8年2月9日(月)

- ①役場組織機構改革
- ②飯南町過疎地域持続的発展計画
- ③地域おこし協力隊制度を活用したIT人材の確保
- ④低所得世帯に対する支援金の給付
- ⑤こども広場(頓原地区)の整備
- ⑥学校再編と志々小学校の統合
- ⑦学校給食費の抜本的な負担軽減(給食無償化)

令和8年3月17日(火)

- ①次期一般廃棄物処理のあり方に係る再検討
- ②第3次飯南町地域公共交通計画
- ③養豚事業における事業者等の変更
- ④水道料金検討会議の報告
- ⑤学校再編と志々小学校の統合
- ⑥令和8年度 医師・診療体制

牛飼いの道まっすぐ

難波陽希さん(才倉)

「牛でやっていきたいんです」。そう話す難波さんは、黒毛和牛の繁殖経営に本格的に挑戦している。小さい時から祖母について牛飼いを手伝っていた。牛が好きで高校は畜産科に通い、島根県立農林大に進学しさらに学びを深めた。

現在は家族とともに、水稲と繁殖牛を組み合わせた農業



難波陽希さん

明日を拓く



を行い、稲わらやWCS、牧草を活用しながら飼料の自給化を進めている。

堆肥は田んぼへ戻し、米づくりに生かす。「米と牛を循環させることで経費を抑え、無理のない形で経営を続けていこうと考えています」「堆肥を入れた田んぼは、土も良くなります。やっぱり循環は大事だと思えます」と、手応えも口にする。

牛の管理は、毎日の積み重ねだ。餌やりや健康管理に加え、出産への対応もあり、気が抜ける日は少ない。「朝も早し、夜も見に行くことがあります。出産が近いと特に気になります」。それでも「子牛が無事に生まれて、元気に立ち上がったときはほっとします。あの瞬間はやっぱりうれしいですね」と笑顔を見せる。「大



変ですけど、牛を見ているのが好きなんですよ」と、牛づくりのやりがい語った。
将来の目標は、繁殖牛を50頭まで増やすことだ。「そこまっていけば、牛だけでやっていける規模になると思うんです。少しづつでも増やしていきたい」。ただ、そのためには新たな牛舎の整備が欠かせない。候補地はあるものの計画は思

うように進んでいない。「牛舎ができれば頭数を増やせるんですが、臭いや環境面への心配があり、周囲の理解を得ながら進めていこうと思います」。言葉を選びながら話した。
規模拡大には設備投資も必要になる。堆肥を運ぶダンブやバキュームカー、削蹄のための設備など、頭数が増えるほど機械の必要性も高まる。

高齢化が進み「町内ではやめる人が少しずつ出てきています。このままだと頭数も減っていくと思う」。そうした状況の中で、「自分ができるところまでやって、少しでも地域の牛を残していきたい」と前を向く。
米と牛を組み合わせた循環型農業を軸に、「地域の中で続けていける形をつくりたいですね」と語る。若い担い手の一歩が、地域農業の将来につながっていくことが期待される。

今日の表紙写真



20歳という若さで畜産に臨んでいる姿を見ただけでも感心してしまいました。生き物を生業にすること自体が大変なのに、陽希さんは事業の拡大を目指しています。家族での経営は、一般事業とは違う良さや不都合もありますが、希望が叶うように、私たちも応援していきたいものです。

募集中

「明日を拓く」で取り上げてほしい個人・団体などの情報をお寄せください。議会広報委員が取材に伺います。

《応募先》飯南町議会事務局
0854-76-2190



議会広報常任委員会

委員長:安部 丘 副委員長:高橋 徹 委員:伊藤 好晴 安部 誠也 平石 玲児 岸 光研

飯南町議会事務局 島根県飯石郡飯南町下赤名880番地 TEL0854-76-2190 FAX0854-76-2867